

**頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム  
平成 27 年度採択事業にかかる事後評価結果**

整理番号	S2702
代表機関名	東京医科歯科大学
主担当研究者所属部局	大学院医歯学総合研究科
関連研究分野	消化器内科学
主担当研究者	渡辺 守
事業名	ハーバード大学との戦略的提携による器官恒常性破綻病態に対する新規治療法の開発

**I これまでの事業実施により得られた成果**

(1) 人的交流を通じた国際研究ネットワークの構築・強化についての評価

<b>評 点 4</b>
<b>コメント</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画していた 16 名の派遣に対し、最終的に 300 日以上派遣した者が 17 名（講師 2 名＝532 日、386 日、その他 15 名＝542 日、548 日、548 日、365 日、365 日、453 日、512 日、669 日、535 日、355 日、308 日、350 日、365 日、327 日、324 日）となった。</li> <li>・計画していた 13 名の招へいに対し、最終的に 9 名の招へいとなった。</li> <li>・東京医科歯科大学はこれまで海外連携機関であるハーバード大学と教育を通じた連携から始まり、研究面での連携につなげ、多くの人的交流が行われることで大きな効果を上げてきた。さらに、本事業を通じ、多くの若手研究者が派遣されるなど、国際研究ネットワークの強化や拡大について十分な実績を上げており、高く評価できる。</li> </ul> <p>以上のことから、期待される成果は十分達成していると評価できる。</p>

(2) 国際共同研究課題についての評価

<b>評 点 4</b>
<b>コメント</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の研究グループは、消化器領域で世界で初めて腸管上皮初代培養や小腸大腸幹細胞移植を成功させるなど、高い実績を有している。本事業でも多岐に渡る研究課題に取り組んでおり、その多くの到達目標が達成されていると判断できる。</li> <li>・また、発表論文の数も非常に多く、高く評価できる。</li> </ul> <p>以上のことから、期待される成果は十分達成していると評価できる。</p>

**II 今後の展望**

<b>評 点 4</b>
<b>コメント</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の多くの分野で若手研究者の実績が残された点が高く評価できる。</li> <li>・従来の国際研究ネットワークの強化に加え、新たなネットワーク形成への展開も認められること、また、積極性において分野間の差はあるものの、事業終了後も全般的に一定程度の研究交流が行われていることから、今後の発展が期待できる。</li> </ul>

以上のことから、今後の展望は高く評価できる。

### 総合的評価

評 点 4

#### コメント

- ・東京医科歯科大学と海外連携機関であるハーバード大学との交流の歴史は長く、時期によりその活発さに差はあるものの、総じて国際交流は順調であり、学部生の交流、研究者の交流も各分野で行われており、本プログラムの趣旨に沿った国際交流がなされていると判断できる。
- ・多岐に渡る到達目標も概ね達成されていると考えられ、発表論文の数も非常に多く、高く評価できる。
- ・従来の国際研究ネットワークの強化に加え、新たなネットワーク形成への展開も認められることから、今後の国際共同研究の発展が期待できる。

以上のことから、総合的に高く評価できる。

※評点に対する標語は下記の通り。

#### 【I (1)、(2)】

4=十分達成している    3=概ね達成している    2=ある程度達成している    1=ほとんど達成していない

#### 【II、総合的評価】

4=高く評価できる    3=概ね高く評価できる    2=ある程度評価できる    1=ほとんど評価できない